



KYUSHU
UNIVERSITY

九州大学の医療系スタートアップ支援 QUICK

AMED 橋渡し研究プログラム
大学発医療系スタートアップ支援プログラム
九州大学拠点

2026年公募説明会

九州大学
生命科学革新実現化拠点
橋渡し研究推進部門

はじめに

このような方におすすめの公募です

研究者の方

- ◆ 将来スタートアップを考えている
- ◆ 医療シーズの社会実装を目指している

スタートアップの方

- ◆ 起業直後の医療系スタートアップ
- ◆ 非臨床開発を進めたい
- ◆ VC投資に向けたデータを整備したい



S0 / S1 / S2 の3フェーズで支援

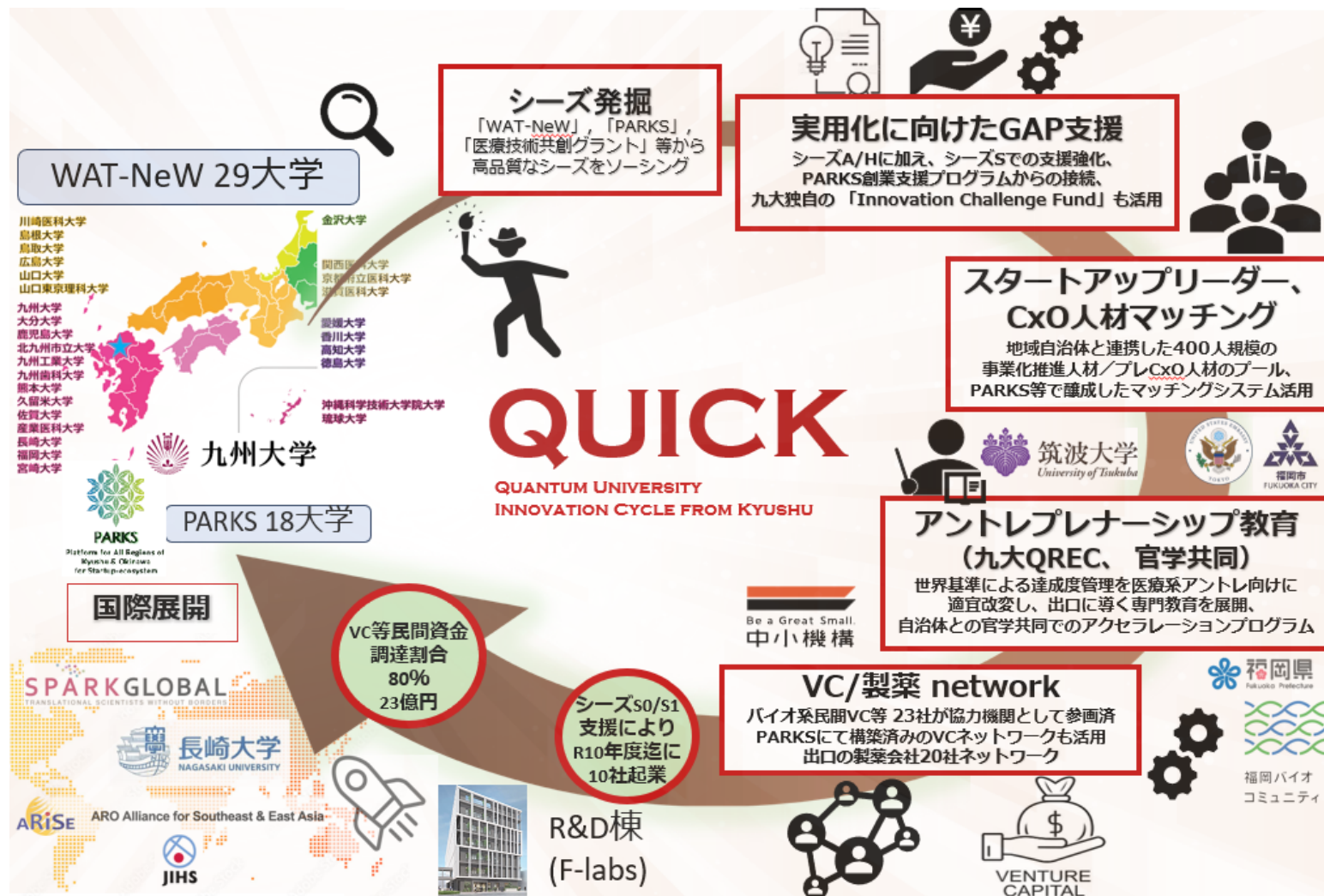
本日の内容

1. 九州大学の医療系スタートアップ支援
QUICKについて
2. 2026年 公募内容
3. 質疑応答

1. 九州大学の医療系スタートアップ支援 QUICKについて

大学発医療系スタートアップ支援プログラム

総合知を新医療へ、九州・沖縄・西日本を挙げてアジアへ繋がる医療系スタートアップエコシステムの構築



GAP支援：経験あるPMの伴走



S0



S1



S2



橋渡しPMハンズオン+学産PM伴走支援

医療系に特化した支援



研究開発

- ◆ ロードマップ策定
- ◆ 実験計画

etc.



薬事戦略

- ◆ TPP
- ◆ 明確な薬事出口
- ◆ least burdensome path

etc.



知財戦略

- ◆ 医療系シーズ事業化に資する強い特許化
- ◆ backbox化

etc.



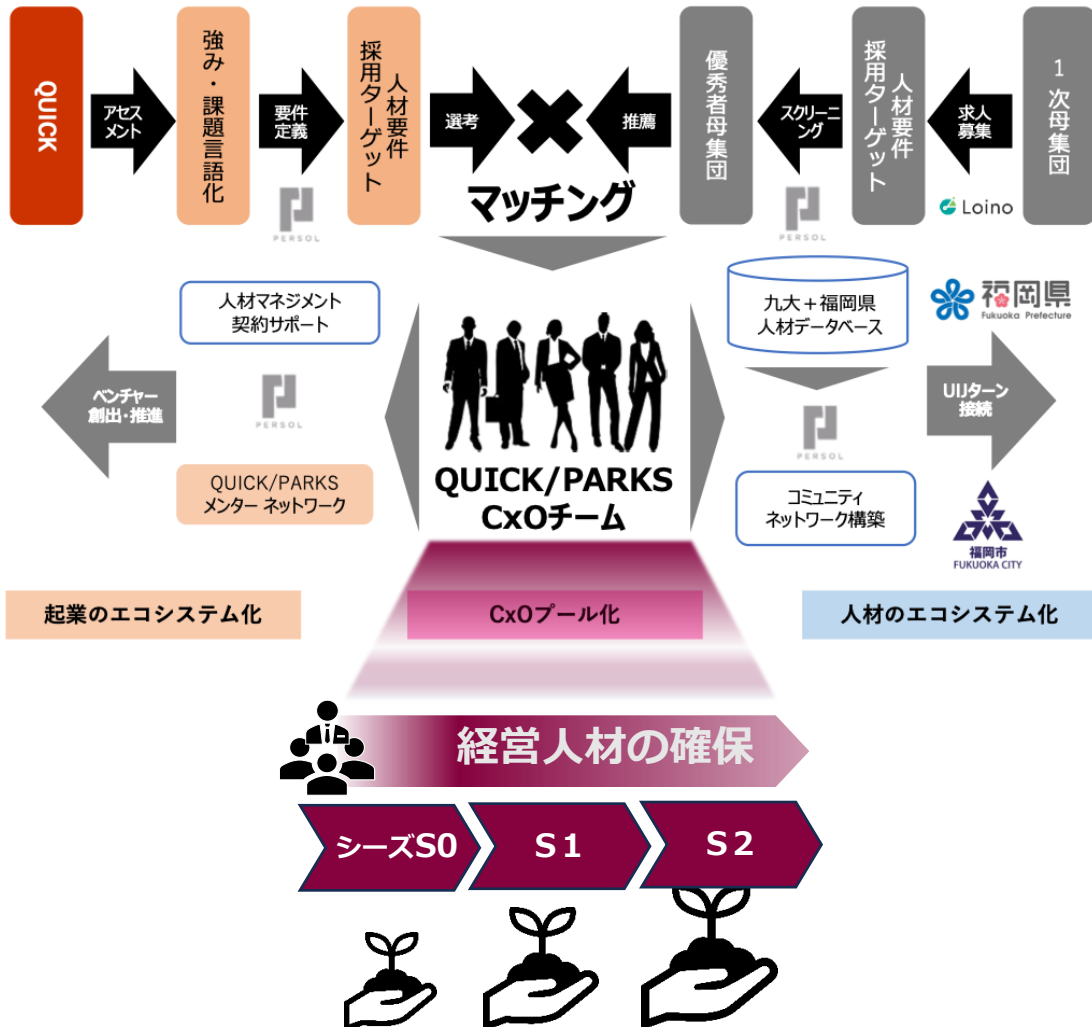
事業戦略

- ◆ STP
- ◆ GMP/QMS
- ◆ 保険戦略
- ◆ 有利な導出
- ◆ M&A/IPO

etc.

経営人材候補(CxO)プールを構築

CxOバンク（九州大学＋福岡県商工部新事業支援課構築）400人以上登録



CxO人材構成：

CEO 31%, 事業部長21%, CFO 12%,
CMO 9%, その他27%

居住地域：

首都圏67%, 関西圏11%, 九州13%

CxOバンク 人材例：

A氏：

- ・大手外資系製薬企業 研究開発チームリーダー
- ・大手外資バイオ系企業 CRO事業のマーケティング・セールスマネジャー
- ・国内大手化学メーカーにてバイオ関連新規事業開発

B氏：

- ・大手外資系医療機器メーカーマーケティング、プロダクトマネジャー
- ・海外勤務経験5年以上。
- ・国内医療機器SUにて事業開発、製品開発業務を担当。

ビジネスの力が医療を変える。アジアへ繋がる医療系スタートアップエコシステム「QUICK」が目指す新薬・医療機器等開発の未来

アントレプレナーシップ教育：重層的提供

1. QREC



Robert Huang Entrepreneurship Center (2010年創設)

- 1) EUのEntreComp（国際水準）に整合したカリキュラム
- 2) 九州大学中期計画に位置付けて、継続的運用を担保
- 3) 学生の自主活動支援(Student Initiative Program)による豊富な実践機会

2. TSMTP

NIH/NCATSのプログラムに沿って橋渡し・創薬の基礎

2024年 8月31日(土)・9月1日(日)
10:00~17:10 10:00~16:00

参加費 無料
定員 50名

アカデミア・企業に関わらず
医薬品開発に関心のある方
(学生を含む)

申込方法: <https://wat-new.org/archives/5388>

8月31日(土)	9月1日(日)
開会のあいさつ 戸高 浩司 (九州大学薬学部APC研究推進センター)	医薬品開発と特許 吉田 宏治 (九州大学薬学部APC研究推進センター)
製薬企業におけるマーケティング部門のミッションと役割 近藤 健二 (トランスファーズ株式会社)	CMCとGMP (研究開発から生産へ) 菅原 皇 (一社社員個人研修/PCD開発専攻)
医薬品候補化合物の創製 川西 美治 (九州大学薬学部)	非臨床安全性試験とGLP 有馬 裕宏 (株式会社研究推進)
創薬ターゲットの選択とスクリーニングの確立 伊井 賢章 (Assisted Drug Discovery Platform 株式会社)	臨床開発・治験-GCP ~何を見ているのか?~ 戸高 浩司 (九州大学薬学部APC研究推進センター)
候補化合物の選択における薬物動態評価 森口 友美 (シーベークファーマ株式会社)	医薬品の承認審査について 手塚 新 (独立行政法人医薬品医療総合機構)
候補化合物の選択と初期毒性評価 白井 勇司 (株式会社丸善)	開会のあいさつ 尾藤 英司 (九州大学薬学部APC研究推進センター)
創薬イノベーションエコシステム Translational Scienceの軌跡から 下野 真彦 (東京医科歯科大学 薬学系イノベーション推進)	

お問合せ
九州大学 学術研究・産学官連携本部生命科学革新実装拠点
創薬研究推進部門
TEL 092-642-4802
E-Mail nw-info@med.kyushu-u.ac.jp

3. FBCAP

(福岡バイオコミュニティ・アクセラレーションプログラム)

社会実装を目指す方/スタートアップ向け

講義ビデオ

1. 社会実装のプランニング

- Team up (13'21") '23/9/4 更新 [Play](#)
- Delivery/Supply chain (13'40") '23/9/4 更新 [Play](#)
- 社会実装プランの実例紹介 (9'35") !新 [Play](#)
- 実例レビュー (Product, Market/Segment) (12'24") !新 [Play](#)

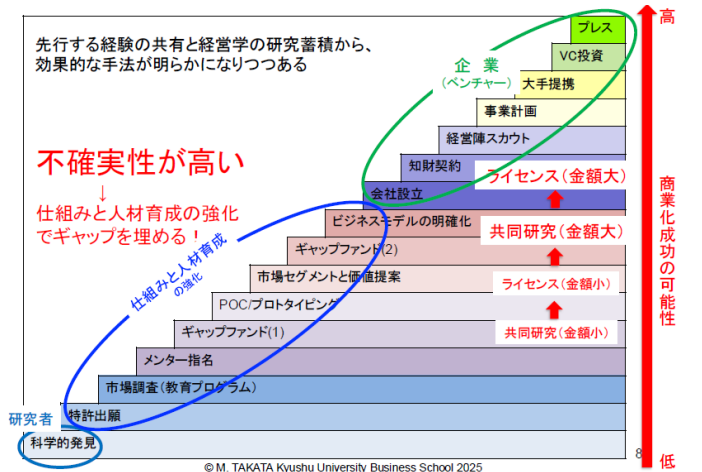
参考ビデオ

1. 社会実装の解説

- 社会実装って? (6'50") '22/10/6 更新 [Play](#)

2. 医薬系Startupの商業化の流れ

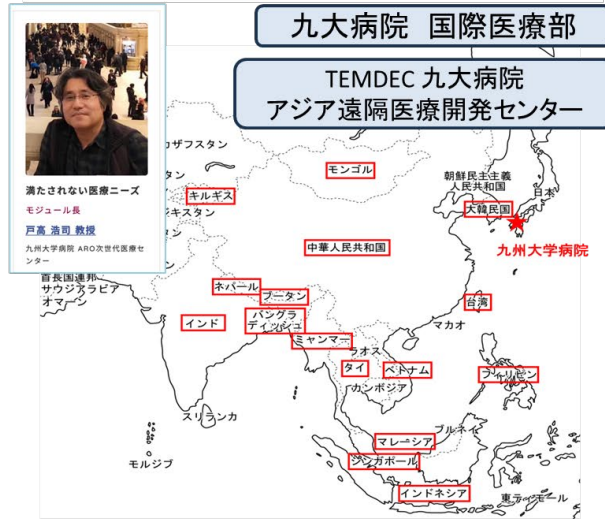
- Startupを取り巻くエコシステム (7'31") '22/4/15 更新 [Play](#)
- Startupの立ち上げ (8'28") '22/4/15 更新 [Play](#)
- ベンチャーステージ (4'25") '22/4/15 更新 [Play](#)



アジアから国際展開・感染症開発の強み



満たされない医療ニーズモジュール



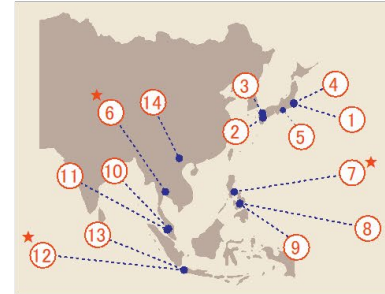
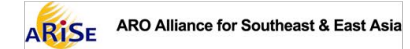
17か国との臨床研究ネットワーク

Clinical Research MalaysiaとMoU



長崎大学 感染症研究出島特区

フィリピン・サンラザロ病院とMoU



- タイ**
 - ⑥ マヒドン大学シリラート病院
 - ★ NCGM 連携オフィス設置
- フィリピン**
 - ⑦ フィリピン大学マニラ校 (フィリピン NIH、フィリピン総合病院含む)
 - ★ NCGM 連携オフィス設置
- マレーシア**
 - ⑧ コラソン・ロクシン・モンテリパノ・メモリアル・リージョナル病院
 - ⑨ ウェストビサヤ州立大学
 - ⑩ クリニカル・リサーチ・マレーシア
 - ⑪ マラヤ大学医療センター
 - ⑫ インドネシア大学
- インドネシア**
 - ⑬ シロアムホスピタルグループ
 - ⑭ モフタルリアディンスティテュート・フォー・ナノテクノロジー
- ベトナム**
 - ⑮ 国立バクマイ病院

アジア諸国の開発ネットワーク



福岡市・県から国際展開

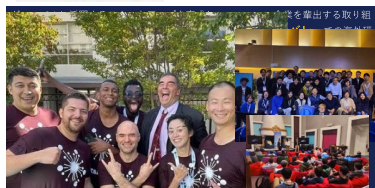
11 国・地域
15 拠点



高島市長



JAPAN, FUKUOKA
STARTUP PACKAGE
for Foreign Entrepreneurs



国家戦略特区（福岡市） で起業家を優遇

- ・スタートアップビザ
- ・事務所等の賃料補助
- ・スタートアップ法人減税

福岡県



EQUIPMENT
アクセラレーターでは
類を見ない
約100種類の最新機材

服部知事



石橋総長
ヒーリー知事

2023年

定期的にベンチャーと共にMass Bio等 Boston訪問

SPARK GLOBAL
TRANSLATIONAL SCIENTISTS WITHOUT BORDERS



Stanford大を中心としたTRネットワーク
への接続



福岡ライフサイエンス産業拠点：R&D棟（f-labs:エフラボ）を新設

敷地内R&D施設 概要

外観イメージ



フロア構成



施設イメージ



建設中（2025年末竣工、2026年1月開業）
延床面積 8500m²

f-labs



- ・九州大学病院に直結
- ・民間が運営
- ・2～3階に九州大学AROと生命科学革新実現化拠点
- ・4～6階にライフサイエンスラボ（BSL-2まで対応可能）とオフィス
- ・創業初期から臨床開発までのエコシステムを構築し、グローバルで戦える創薬プレイヤーの輩出を目指す

QUICKの特徴

一般的な研究公募との違い

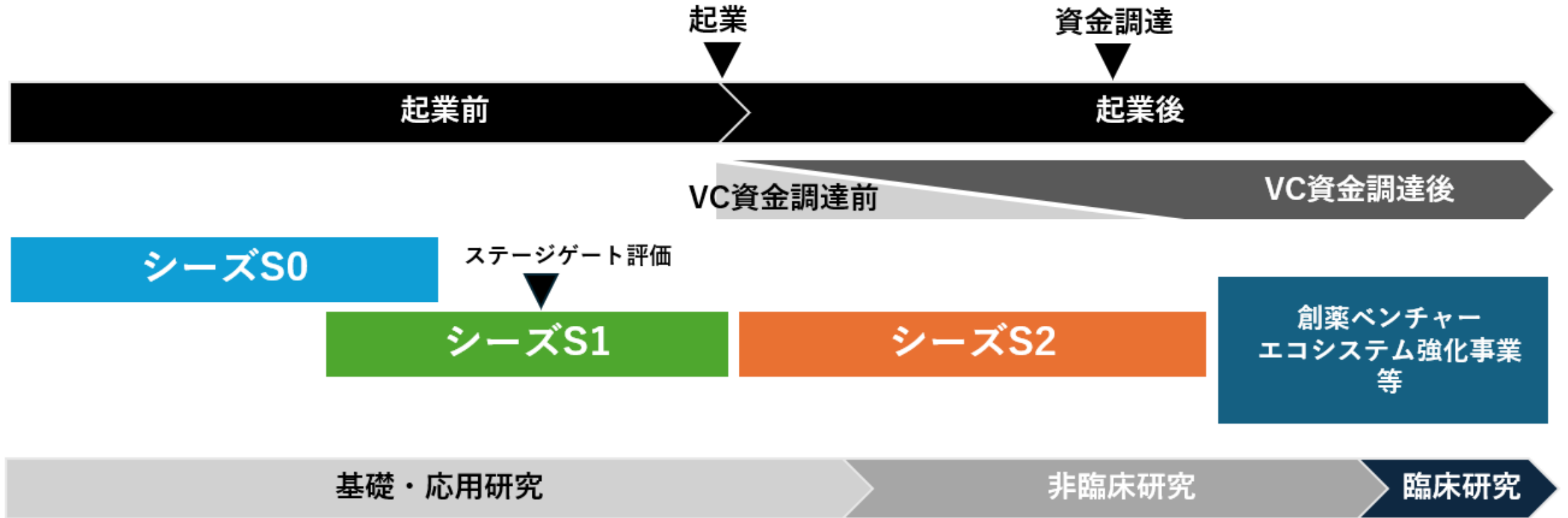
	一般的な研究公募 (科研費等)	本プログラム
目的	研究	社会実装
支援	研究費	研究+事業化・起業
体制	PI中心	PM伴走
成果	論文	起業・投資

QUICKで提供するもの

- ◆ 研究費
- ◆ CEO候補の紹介
- ◆ VCネットワーク
- ◆ PMによる伴走支援
- ◆アントレプレナーシップ教育
- ◆ 国際展開

2. 2026年 公募内容

公募課題



シーズs0 (若手育成)

シーズs1(起業前)

シーズs2 (起業後)

S0（若手研究者向け）

対象：若手研究者

2026年4月1日時点で以下のどちらか

①43歳未満、もしくは②博士号取得後10年未満
学生応募も可能です

研究開発

- in vivo/in vitro 有効性
- 試作機の作成
- 製品基本要件整理

事業準備

- ビジネス仮説
- キャッシュフロー理解
- プロジェクト価値の整理

支援：

- ・ 研究費 1,000万円/年（最長2年）
- ・ PM伴走、アントレプレナーシップ教育の提供、CxOマッチング

S1（起業前フェーズ）

対象：アカデミア研究者

研究開発

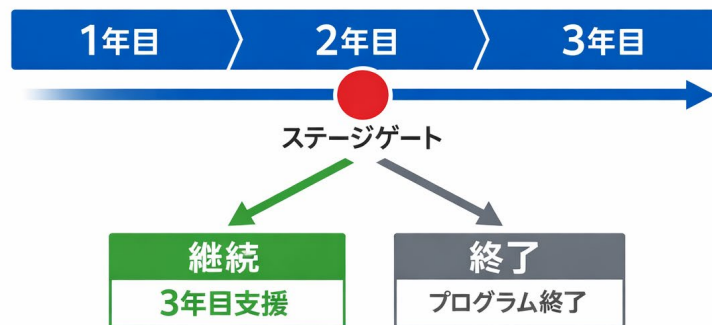
- 非臨床データ取得
 - 製造法確立
 - 製品試作
- 等

事業化

- CEO候補確定
 - 資本政策の策定
 - 起業
- 等

支援：

- ・ 研究費 3,000万円/年（最長3年）2年目末にステージゲート評価あり
- ・ PM伴走、事業戦略支援、CxOマッチング 等



進捗状況进行评估し
研究開発・事業化の進展が確認された課題
のみ3年目支援を継続

S2（起業後スタートアップ）

対象：アカデミア発スタートアップ

- 起業後5年未満の未上場のスタートアップ
- これまでシリーズA相当の資金をVC等から未獲得

研究開発

- GLP試験
- GMP製造
- 第I相試験の準備 等

事業化

- VCからの資金調達

支援：

- 研究費 15,000万円/年（最長2年）
- PM伴走、開発戦略支援、事業戦略支援、CxOマッチング 等

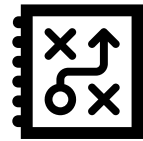
望まれるシーズ



医療ニーズが明確
(対象患者・臨床課題が具体的)



技術の新規性・優位性
(既存技術との差別化)



実現可能な開発計画
(POCデータ・開発ステップ)



知財・事業化の見通し
(特許戦略・市場・チーム)

よくある不採択理由



技術説明だけになっている

(医療課題が不明確)



臨床的価値が説明されていない

(誰の何を改善するのかが不明)



開発の道筋が見えない

(次に何を検証するのかが不明)



事業化の視点がない

(知財・市場・チームの記載が不足)

提出書類

必要な提出書類（共通）		
①	（様式1）提案書	<ul style="list-style-type: none">PDF形式（25枚以内、但し「シーズ情報」は5頁以内）
②	（様式2）課題予算案	<ul style="list-style-type: none">Excel形式（年単位で作成）単価が50万円以上の設備備品費・単価が150万円以上の外注費については採択後見積書も提出いただきます。
③	（様式3）研究費の応募・受け入れ状況および利益相反について	<ul style="list-style-type: none">Word形式
④	グラフィカルアブストラクト	<ul style="list-style-type: none">PDF形式開発の背景、方法、成果等についてイラスト等を用いて1枚で要約した資料をご提出ください。
⑤	概要資料	<ul style="list-style-type: none">pdf形式冒頭にexecutive summary（1枚）を含めてください。スライドは、グラフィカルアブストラクト1枚、その他スライド10枚程度でお願いします。（合計11枚以内）ヒアリングのプレゼンテーションは、基本的には本スライドで実施して頂きます。

必要な提出書類（S2のみ）

- ① 商業登記簿謄本(写)
- ② 定款
- ③ 株主名簿
- ④ 取締役・アドバイザーの略歴（アドバイザーは役割概要も記載）
- ⑤ 社内組織図
- ⑥ 事業計画書
- ⑦ 資本政策
- ⑧ 応募シーズに関する支援期間内での開発ガントチャートと月次（又は四半期毎）資金計画
- ⑨ 特許一覧(出願日、出願国、権利者、審査状況の情報含む)
- ⑩ 事業報告書（直近3年分）
- ⑪ 決算書（直近3年分）

上記提出書類は飽くまでも応募受付・審査補助資料ですので、これらに含まれる重要なポイントは、審査の主要書類である提案書・概要資料に適切に記載するようお願いいたします。

応募にあたっての主な注意点

応募前に以下の点をご確認ください

① 他の競争的資金との関係

- ✓ 本事業で実施する研究内容は**他の研究費と明確に区分**する必要があります
- ✓ 同一研究内容の**重複受給は認められていません**
※特に他の橋渡し研究プログラムとの同時獲得は厳禁です
- ✓ 重複状況の確認のため**AMEDやJST等の関係機関へ照会する場合があります**

② 起業を前提としたプログラム

- ✓ 本プログラムは、**大学発医療系スタートアップ創出**を目的としています。
- ✓ S0/S1については、**将来的な起業を目指す意思**が求められます。

応募にあたっての主な注意点

応募前に以下の点をご確認ください

③採択後のプログラム参加

- ✓ 採択後は、
 - ◆ PMによる伴走支援
 - ◆アントレプレナーシップ教育への参加
 - ◆ DemoDay等のピッチイベントへの参加等のプログラムに参加いただきます。

④成功報酬（S2のみ）

- ✓ S2に採択されたスタートアップについては**成功報酬として新株予約権を設定**させていただきます
 - ※スタートアップの成長を妨げない条件で設定

応募前相談を歓迎しています

提案書「シーズ情報」

「シーズ情報」で記載いただく内容

- ① 研究概要
- ② サイエンス・技術の概要
- ③ 臨床価値
- ④ 開発実現性（現在のデータ）
- ⑤ 知的財産
- ⑥ 事業化計画
- ⑦ チーム構成

重要なポイント

- ✓ 医療ニーズ
- ✓ 技術の新規性・優位性
- ✓ 実現可能性（POC・開発計画）
- ✓ 事業化の可能性

応募数が多い場合には
シーズ情報の内容を中心に拠点PMによる一次スクリーニングを行う場合があります

審査基準

① シーズ価値

プロジェクトの中長期マイルストーンである株式上場・M&Aを達成する際

10段階評価

- ✓社会インパクト
- ✓市場規模
- ✓収益性
- ✓革新性（独創性・新規性）
- ✓競争優位性・差別化
- ✓成長性・伸展性
- ✓ストーリー



② 実行可能性

プロジェクトが同マイルストーンを達成する可能性

10段階評価

- ✓研究開発計画の妥当性・実行可能性
- ✓経営戦略（事業戦略）
- ✓ビジネスモデル
- ✓チーム構築
- ✓資本政策（資金調達）
- ✓必要資金・期間（経費内訳の妥当性）
- ✓パートナーング
- ✓提案者の資質・意欲

公募スケジュール

課題募集：3/5（木）～4/30（木）正午

個別相談
随時

応募数が多い場合には
シーズ情報の内容を中心に拠点PMによる
一次スクリーニング

拠点
内
審
査

書面審査（5月下旬～6月中旬）

ヒアリング審査（7月初～中旬）

採否決定（8月上旬）

支援開始（10月1日）

※個別相談は随時お受けしておりますが、直前はお問合せが集中することが予想されます。ご相談はお早めにお願いいたします。



2025年度採択予定数

2026年採択予定数	
S0	4 課題程度
S1	3 課題程度
S2	1 課題程度

応募方法

専用サイトから、提案書等をダウンロードし、「応募フォーム」から提出

必要書類および申込

必要書類
① (様式1) 提案書
② (様式2) 課題予算案
③ (様式3) 研究費の応募・受入状況および利益相反について
④ グラフティカルアブストラクト
⑤ 概要資料 (概要資料作成例)
⑥ 設立済みのスタートアップに関する書類<S2応募者のみ>

③ 開発の背景、方法、成果等についてイラスト等を用いて1枚で要約した資料をご提出ください。

④ 概要資料は、提案書に即した内容の資料を11枚以内のpptx形式にてご提出ください。冒頭にグラフィカルアブストラクト(1枚)を含めてください。

⑤ 設立済みのスタートアップ企業に関する書類(商業登記簿謄本の写し、定款等)を提出いただきます。詳細は公募要領をご確認ください。

シーズS応募フォーム

2026年 シーズS 応募フォーム

以下のフォームをご記載ください。

今回応募されるシーズを選んでください S0
*入力必須項目 S1
 S2 クリア

研究開発課題名
*入力必須項目 採択された場合、課題名はウェブ上で公開いたします。公開可能な名称にてお願いします。

代表者氏名
*入力必須項目

大学名/企業名
*入力必須項目

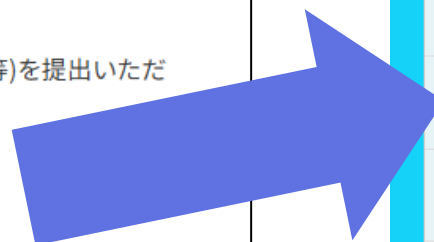
部署

職位
*入力必須項目

メールアドレス
*入力必須項目

メールアドレス【確認用】
*入力必須項目

電話番号



お問合せ先

応募相談・問合せ

公募内容に関するお問合せ・応募前の事前相談をご希望の方は以下のお問合せ先までご連絡ください。お早目のご相談お待ちしております。

シーズSお問い合わせフォーム

九州大学 生命科学革新実現化拠点 橋渡研究推進部門

e-mail: nw-info★med.kyushu-u.ac.jp(★を@に変えてください。)

電話:092-642-4802/4553

過去の公募結果

- [2025年度 応募状況&採択課題](#)
- [2024年度 公募結果](#) [2024年度 採択課題](#)

